

【超長期的な環境ビジョン】

将来イメージ:「全市民が高い環境意識を持ち、環境負荷を極限まで低減している持続可能な地域社会」

あるべき姿: ○受け継がれてきた多様な自然とふれあうなかで、自然観や健やかな心を養いながら、豊かな人間関係を構築
 ○積極的に先進的な技術などを取入れ、経済活動や日常生活に伴う環境負荷を一層低減
 ○各主体の有機的なパートナーシップにより、環境保全行動に対する理解が深まり、環境に配慮した行動を着実に実践

【三世代後を見据えた市のデザイン(イメージワード)】

【市街地】

- 再生可能エネルギーの普及
- 省エネ型ビルやエコハウス
- 公共交通網の整備
- 省エネ・無公害車の利用

【山間地】

- 体験型・滞在型観光(エコツアー)の振興
- スローライフ
- 森林の適正管理

【里地里山】

- 水に恵まれた田園地帯
- 豊富な農産物
- 生き物たちのにぎわい
- 季節を感じる風景

【川・海】

- 水の清らかさ・親水空間
- 川や海が育むいのち
- 持続可能な漁業
- 広大な干潟に集う渡り鳥

【くらし】

- 幼児期からの環境教育の充実
- 環境保全行動の日常化
- つながりの強いコミュニティ
- ボランティアによる美化活動

【地域社会】

- 環境保全型のライフ・ビジネススタイルの定着
- 経済発展と環境保全の両立
- コンパクトシティ

■[第一次]八代市環境基本計画の体系図

実現のための第一段階

